

読売新聞 きょう（9月11日）のイチ押し

1面・社会面 ワクチン2回接種 5割

新型コロナウイルスワクチンの2回目の接種を受けた人の割合が、全国民の5割に達しました。65歳以上の高齢者は8割以上に上っていますが、64歳以下の接種率はまだ低く、地域によってばらつきがあるのが実情です。11月までに希望者全員に接種を終えるという政府目標を達成するには、遅れている地域で接種の加速化が求められます。

- ★ 64歳以下の都道府県別接種率は、本紙が国のデータを基に独自に集計しました。最も高かったのは山口県で36.1%。次いで和歌山県（34.4%）、熊本県（33.6%）でした。一方、最も低かったのは岩手県の18.1%。栃木県（18.5%）、北海道（19.9%）などが続きました。
- ★ 遅れている自治体では、若者枠を設けたり、夜間の時間帯に受け付けたりと、あの手この手で挽回を目指しているようです。

1面・3面など 河野氏が出馬表明 自民総裁選

今月29日投開票の自民党総裁選では、河野太郎行政・規制改革大臣（58）が立候補を正式に表明しました。河野氏は2009年に続き、2度目の総裁選出馬となります。「脱原発」を訴えてきたエネルギー政策については、持論を封印して原発再稼働を当面容認する考えを話しました。かつて女系天皇の検討を主張したこともありましたが、安定的な皇位継承策については、政府の有識者会議の議論を尊重する姿勢を示しました。

出馬表明は、岸田文雄・前政調会長（64）、高市早苗・前総務大臣（60）に続いて3人目です。総裁選は3氏が軸となる構図でほぼ固まってきており、混戦になりそうです。

他紙と比べて

関西経済面で、大阪に本店を置きりそな銀行の岩永省一社長（56）にインタビューしています。2025年の大阪・関西万博について、「関西全体が盛り上がり、相当な効果があるのでは」とみています。企業の伴走者として、万博がテーマにするSDGs（持続可能な開発目標）を推進する仲介役の役割を果たしたいと述べています。